

道路工事費負擔金徵收規則

一、宮崎縣

第一條 國道府縣道及其ノ附屬物ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ノ費用ニシテ知事ノ指定スルモノハ其ノ工事ニ因リ著シク利益ヲ受クルモノヲシテ其ノ一部ヲ負擔セシム

第二條 道路工事費負擔金ヲ分チテ隣接地域負擔金及特別受益地域負擔金ノ二種トス
 隣接地域負擔金ハ市街地及之ニ準スヘキ地域ヲ限リ道路ノ區域ヨリ二十間以内ニ於ケル土地ノ面積ニ對シ受益者ニ之ヲ課ス

特別受益地域負擔金ハ道路ニ關スル工事ニ因リ特別利益ヲ受クル地域ニシテ前項ノ市街地及之ニ準スヘキ地域外ノ土地又ハ竹木ニ對シ受益者ニ之ヲ課ス

第二項ノ市街地及之ニ準スヘキ地域竝ニ前項ノ受益地域ハ知事之ヲ決定ス

第三條 隣接地域負擔金ハ左ノ率ニ依ル

法令欄

一等	時價百分ノ二十	二等	同	十八
二等	同	三等	同	十四
三等	同	四等	同	十
四等	同	五等	同	六
五等	同	六等	同	二
六等	同	七等	同	二
七等	同	八等	同	二
八等	同	九等	同	二
九等	同	十等	同	二
十等	同	十一等	同	二

第四條 特別受益地域負擔金ハ左ノ率ニ依ル

山林	田畑宅地	原野其ノ他
一等	時價百分ノ廿	時價百分ノ五
二等	同	同
三等	同	同
四等	同	同
五等	同	同
六等	同	同
七等	同	同
八等	同	同
九等	同	同
十等	同	同
十一等	同	同
十二等	同	同
十三等	同	同
十四等	同	同
十五等	同	同
十六等	同	同
十七等	同	同
十八等	同	同
十九等	同	同
二十等	同	同

第五條 道路工事費負擔ノ總額ハ工事費ノ十分ノ三ヲ超ユルコトヲ得ス

現品ヲ賦課スルトキハ其ノ金額ト道路工事費負擔金トノ合算額ハ工事費ノ十分ノ三ヲ超ユルコトヲ得ス

前二條ニ依リ算出シタル金額カ前二項ノ制限ヲ超ユルトキハ其ノ制限内ニ達スル迄前二條ノ率ヲ同一ノ割合ヲ以テ低減ス

知事ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ前三項ニ異ル定ヲ爲スコトヲ得

第六條 道路工事費負擔金ハ土地又ハ竹木ノ所有者ニ之ヲ課ス但シ未經過存續期間五十年ヲ超ユル地上權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者ニ之ヲ課ス他人ノ土地ノ上ニ竹木ヲ所有スル者アルトキハ其ノ竹木カ前項但書ノ地上權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者ニ之ヲ課ス

他人ノ土地ノ上ニ竹木ヲ所有スル者アルトキハ其ノ竹木カ前項但書ノ地上權者ニ屬スル場合ヲ除ク外土地及竹木ノ時價ヲ各別ニ決定シ竹木ニ付テハ山林ノ率土地ニ付テハ原野其ノ他ノ率ニ依負擔金ヲ算出ス

第七條 道路工事費負擔金ヲ課スル土地ヲ課セザル前項ノ每期ノ納付額ハ知事ノ定ムル處ニ依ル附則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本令ヲ施行スル爲必要ナル事項ハ知事之ヲ定ム

二、大阪市

第一條 道路ノ鋪裝工事ニ因リ利益ヲ受クル土地所有者ニ對シ其ノ費用ノ一部ヲ負擔セシム但シ小修繕ノ費用ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 前條ニ依リ鋪裝工事ヲ爲スヘキ道路ノ片側ニ於ケル土地所有者ノ負擔スヘキ金額ハ工事費ノ四分ノ一以內トス但シ幅員六間以上ノ道路ニ在リテハ幅員六間ノ道路ノ負擔額ト同額ニ止ム

第三條 土地所有者負擔額ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ分擔セシム

土地所有者負擔額ノ内其半額ハ鋪裝道路ニ面接スル間口ノ長サニ比例シ他ノ半額ハ當該道路ノ境界線ヨリ奥行二十間ノ地域ノ面積ニ比例シ負擔額ヲ定ム但シ奥行地番界河川溝渠又ハ竝行道路等ノ實況ヲ斟酌シ負擔額並其地域ヲ變更スルコトアルヘシ同一ノ土地ニシテ前項ノ規定ニ依リ重複シテ鋪裝

法令欄

土地ト爲シ若ハ之ヲ課セザル土地ヲ課スル土地ト爲シタルトキ又ハ土地ノ用途ヲ變更シタルトキ若ハ前條ノ土地又ハ竹木ノ所有者若ハ地上權者ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ届出テアリタル後又ハ其ノ事實ヲ認メタル後ニ開始スル納期ヨリ負擔金ヲ免除シ若ハ増減シ又ハ新ニ徵收スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第五條ノ規定ヲ適用セス

第八條 左ニ掲クル土地ニ付テハ道路工事費負擔金ヲ課セス

一、國、府縣、郡、市町村其ノ他公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地

二、社寺敷地

三、墳墓地

四、保安林

五、前各號ノ外知事ノ指定スル土地

第九條 知事ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ道路工事費負擔金ヲ免除シ又ハ輕減スルコトヲ得

第十條 道路工事費負擔金ハ知事ノ定ムル納付年限ニ從ヒ毎年四月三十日及十月三十一日ノ二期ニ分チ分納セシム

工事費ヲ負擔スヘキ地域ニ該當スル場合ニ在リテハ土地ノ狀況ニ依リ面積負擔ノ一部ヲ免除スルコトアルヘシ

第四條 倉庫業者、運送業者、自動車業者其ノ他鋪裝工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ニ對シテハ前二條ノ規定ニ拘ハラス當廳ノ認ムル所ニ依リ費用ヲ負擔セシムルコトアルヘシ

第五條 倉庫業者、運送業者、自動車業者其ノ他特ニ鋪裝路面ヲ損傷セシムヘキ事業ヲ爲ス者ニ對シテハ當廳ニ於テ其事業ノ爲必要ナリト認ムル區域内ノ修繕費ノ三分ノ二以內ヲ負擔セシム
前項ノ費用ヲ負擔スヘキ者二人以上在ルトキハ之ヲ分擔セシム

前項ノ分擔ハ當廳ニ於テ其損傷ノ原因ト爲ルヘキ事業ノ種類ヲ考量シテ之ヲ定ム

第六條 國府縣郡市町村其ノ他公共團體ニ對シテハ本規程ニ依ル費用ヲ徵收セザルコトアルヘシ
神社寺院祠宇佛堂ノ境内地教會所說教所ノ構内地學校敷地其ノ他公共ノ用ニ供スル土地ノ所有者ニ對シテハ本規程ニ依ル費用ノ負擔ヲ免除スルコト

アルヘシ但有料借地又ハ他ノ目的ノ爲使用スルモノハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ土地ヲ住宅ニ兼用スル者ニシテ當廳ニ於テ主トシテ住宅ニ使用スルモノト認ムルモノハ他ノ目的ノ爲使用スルモノト看做ス

第七條 前條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ免除シ若ハ徵收セサルコトアルモ他ノ土地所有者ノ負擔額ハ之ヲ増加セズ

第八條 負擔金ハ工事着手ノ日ニ於ケル土地所有者ヨリ徵收ス但シ場合ニ依リ其ノ分納ヲ許可スルコトアルヘシ

第九條 道路ノ鋪裝工事費ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附金額ノ範圍内ニ於テ本規程ニ依ル工事費ノ負擔ヲ減免スルコトアルヘシ

當廳ニ於テ適當ト認メタル工法ニ依リ工事ヲ施行シ之ヲ寄附シタル者ニ對シテハ前項ノ規定ヲ準用ス

第十條 本規定ニ依リ土地所有者ヨリ徵收スヘキ負擔金ハ質權ノ目的タル土地ニ付テハ質權者、十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權又ハ賃借權ノ目的タル

甲種負擔金ヲ課スヘキ地域及乙種負擔金ヲ課スヘキ地域ハ知事之ヲ決定告示ス

第三條 前條ノ受益者ハ土地又ハ山林原野ノ立竹木ノ所有者トス但質權ノ目的タル土地ニ付テハ質權者第一條第二項ノ規定ニ依リ知事ノ告示シタル日ヨリ起算シ存續期間二十年以上ノ地上權又ハ永小作權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者又ハ永小作人ヲ受益者トス

同一土地ニ付キ第一項但書ノ權利二箇以上存スルトキハ其ノ最後ニ設定セラレタル權利ノ歸屬者ヲ以テ受益者トス

第四條 道路工事受益者負擔金ハ第一條第二項ノ規定ニ依リ知事ノ告示シタル日ノ現在ニ於ケル受益者ニ對シ之ヲ賦課ス

第五條 甲種負擔金ハ左ノ率ニ依リ知事之ヲ定ム

受益者等級	賦課率
一 等	時價百分ノ二十
二 等	同 十八
三 等	同 十六
四 等	時價百分ノ十四

ル土地ニ付テハ地上權者又ハ賃借權者ヨリ徵收ス
第十一條 本規程ノ施行ニ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

三、京都府

第一條 國道府縣道及其ノ附屬物ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ノ費用ハ其ノ工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ヲシテ其ノ一部ヲ負擔セシム

前項ニ依リ費用ノ一部ヲ負擔セシムヘキ工事及其ノ工事費豫算額ハ知事之ヲ告示ス

道路工事受益者負擔金ノ總額ハ工事費ノ十分ノ三ノ範圍内ニ於テ知事之ヲ定ム

第二條 道路工事受益者負擔金ヲ分チテ甲種負擔金及乙種負擔金ノ二種トス

甲種負擔金ハ市街地及之ニ準スヘキ地域ニ限リ道路區域ノ境界線又ハ道路計畫線ヨリ奥行二十間以内ニ於ケル土地ニ對シ受益者ニ之ヲ課ス

乙種負擔金ハ甲種負擔金ヲ課スヘキ地域外ノ土地又ハ山林原野ノ立竹木ニ對シ受益者ニ之ヲ課ス

五 等	同	十二
六 等	同	十
七 等	同	八
八 等	同	六
九 等	同	四
十 等	同	二

第六條 乙種負擔金ハ左ノ率ニ依リ知事之ヲ定ム

受益等級	山林賦課率	田畑宅地賦課率	原野其他賦課率
一 等	時價百分ノ二十	時價百分ノ十	時價百分ノ五、〇
二 等	同 十八	同 九	同 四、五
三 等	同 十六	同 八	同 四、〇
四 等	同 十四	同 七	同 三、五
五 等	同 十二	同 六	同 三、〇
六 等	同 十	同 五	同 二、五
七 等	同 八	同 四	同 二、〇
八 等	同 六	同 三	同 一、五
九 等	同 四	同 二	同 一、〇
十 等	同 二	同 一	同 〇、五

第七條 土地及立竹木ノ時價ハ各別ニ之ヲ決定シ立

竹木ニ付テハ山林ノ率ニ依リ負擔金ヲ算定ス但山林ニ限り土地及其ノ上ニ存スル立竹木ノ所有者同一ナル場合ハ兩者ヲ合算シテ其時價ヲ算定スルコトアルヘシ

第八條 第五條乃至第七條ノ時價ハ第一條第二項ノ規定ニ依リ知事ノ告示シタル日ノ現在ニ依リ之ヲ認定ス

第九條 道路ニ關スル工事ノ爲府縣制百十二條ニ依リ夫役現品ヲ賦課スルトキハ其ノ金額ト道路工事費負擔金トノ合算額ハ工事費ノ十分ノ三ヲ超ユルコトヲ得ス

第五條及第六條ニ依リ算定シタル金額カ第一條第三項及前項ノ制限ヲ超ユルトキハ其ノ制限内ニ達スル迄第五條及第六條ノ率ヲ同一ノ割合ヲ以テ低減ス

第十條 左ニ掲クル土地ニ付テハ道路工事受益者負擔金ヲ課セス

- 一、國、府縣、市町村其ノ他公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地
- 二、社寺境内地

スヘキ地域

- 三、土地及立竹木ノ時價
- 四、第五條第六條ニ依ル受益等級
- 五、第十條第五號ノ土地

第十五條 審査會ハ市郡連帶審査會及郡部審査會ノ二トシ内務部長其ノ會長トナリ議事ヲ整理ス

第十六條 審査委員ハ左ニ掲クル者ヲ以テ之ニ充ツ

- 一、府官公吏三名
- 二、府會議員四名
- 三、臨時委員若干名

前項ノ委員ハ知事之ヲ命シ又ハ囑託ス
臨時委員ハ知事ノ指定シタル事項ニ限り議事ニ參與シ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得

第十七條 審査委員ニハ府會議員、名譽職府參事會員、名譽職員費用辨償額及旅費支給方法ニ依リ日當及旅費ヲ支給ス

前項ノ規定ハ官吏ニシテ審査委員タルモノニハ之ヲ適用セス

附則 本則ハ大正十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス本則ヲ施行スル爲必要ナル事項ハ知事之ヲ定ム

- 三、墳墓地
- 四、保安林
- 五、前各號ノ外知事ノ指定スル土地

前項各號ノ土地ニシテ有料ニテ貸地又ハ他ノ目的ニ使用セルモノニ對シテハ道路工事受益者負擔金ヲ賦課スルコトアルヘシ

第十一條 知事ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ道路工事受益者負擔金ヲ免除シ又ハ輕減スルコトヲ得

第十二條 道路工事受益者負擔金ハ納期ハ二期トシ第一期ニ於テハ工事費豫算額ニ依ル負擔額ノ二分ノ一第二期ニ於テハ工事費ノ精算額ニ依リ其殘額ヲ納付セシム

前項ノ納期ハ知事之ヲ指定ス

第十三條 知事ハ道路工事受益者負擔金決定ニ關スル事項ヲ審査セシムル爲審査委員會ヲ設ク

第十四條 審査委員會ハ左ノ事項ニ付キ知事ノ諮問ニ應スヘシ

- 一、道路工事費ニ對スル負擔金ノ割合
- 二、甲種負擔金ヲ課スヘキ地域及乙種負擔金ヲ課

東 京 日 日 新 聞

(大正二十五年五月三十日)

商品が塵だらけ

その原因は道路が悪だから

○道路から發生するごみの割合を示すと、アスファルト一、○木道一、五石道五、○マカダム一、○の比にあるがこれは

○衛生設備の完全なるベルリンの統計だから東京など到底比較にならぬばかりでなく現今日本道路の大部分を占めてゐる砂利道になるとはるかに其率がおほい所が日本の商店はこのおどろくべきごみ發生率をもつ砂利道に直面して店を開いてゐるので商品がほこりの爲によごれることは非常なものである、これは道路の完備してゐる外國に於ては例のないことである

○食料品を購入する際には特に注意すべきことで外形はどんなに美しく見え様ともそれはみんな世界に類例のないほどの澤山なごみにまみれてゐることを常にわすれてはならない